

女性ユニフォームデザインプロジェクト



全建協連

東京モード学園で22日ファッションショー

全国建設業協同組合連合会（全建協連、青柳剛会長）は2月22日、東京モード学園（東京都新宿区）の学生と連携して実施している「『自信と誇りを着る』建設業で働く女性のためのユニフォームデザインプロジェクト」の入賞作品発表会を同学園コクーンタワーコクーンホールAで

開く。2022年10月の公開審査で、334点の応募作品の中から選ばれた最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点の計6点を実際に試作・着用したファッションショーとなる。

全建協連では、約5年前にもユニホームデザインプロジェクトを実施した経緯がある。時間経過とともに「スタイリッシュじゃない」「ダサ

に、新しいデザインのユニフォームを求める声が上がってきたほか、この間には建設業で働く女性が増え、活躍の場も広がってきたことを踏まえ、今回は女性用にテーマを絞った。

青柳会長は「建設業界ではいま、新3K（給与・休暇・希望）にも一つ一つのK（カッコいい）を加えた新4Kがうたわれている。このプロジェクトで『カッコいい』をカタチにする。そして女性の『チカラ』で快適職場を実現し、業界のイメージアップにつなげたい」としている。最優秀賞を獲得した田中アリスさんは、実際に建設業で働く友人の声として上がった「収納が少ない」「スタイリッシュじゃない」「ダサ

い」といった従来のユニフォームに対する不満をヒアリングした上で、服にボリュームがつかない程度のポケットや足長効果のあるパンツなどを採用し、デザインに反映させたという。

デザインプロジェクトは、全国建設業協会、建設業振興基金、東日本建設業保証、西日本建設業保証が協賛・後援している。

女性用ユニホームデザインコンテスト 入賞作品発表会のポスター作成



全建協連

全国建設業協同組合連合会(全建協連、青柳剛会長)は、5年ぶりに実施している女性用ユニホームデザインコンテストの「入賞作品発表会」をPRするためのポスターを作った。写真は、600枚程度を印刷し、国土交通省や団体などに配

布。同発表会は2月22日に東京・西新宿の東京モーターショーセンターで開催される。最優秀作品は昨年10月18日に同所で開いた公開審査会で選定。同発表会の会場にはランウェイが設けられ、実際のデザインを採用したユニホームが披露される。

建設業の女性活躍が広がる中、担い手確保に向け新4K(給与・休暇・希望・かわいい)産業としてのイメージアップにつなげる。